

デジタルアーカイブ の普通教科「情報」への展開

久世 均(岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所長)

総合的な探究の時間

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

(2)実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3)探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

地域資源D Aと探究学習

地域資源のデジタルアーカイブでは、自分の生まれた地域のさまざまな地域資源などをデジタルアーカイブすることにより、これまでに気付かなかったさまざまなものが、素材を通して見えるようになる。



このように地域のさまざまなことを再発見し、理解を深めていく上で大切な教育活動であると考えている。

それは、実際の授業のプロセスを見てみましょう。

みなさんは郡上市が好きですか？

いいところ・好きなところ

悪いところ・嫌いなところ

悪いところの原因は何だと思えますか？
どうすれば良くなると思えますか？

悪いところの原因

どうすれば良くなる？

プロジェクトの目的

1. データを分析し、活用する力を身につける。
2. 課題発見力、課題解決力、情報収集・分析力、協働力を養う。
3. 新たな価値を創造し、よりよい地域や社会を実現しようとする姿勢や意識を身につける。
4. データを根拠に、論理的に思考する力、結論を得るために客観的に判断する力、他者に伝えるために論理的に表現する力を養う。

プロジェクトのプロセス

(1) 地域の特徴をつかむ

①地域の「人の動き」をつかむ

→ 地域経済分析システム (RESAS)

②地域の特徴、現状や課題、政策などを知る

→ 自治体のHP、「人口ビジョン」
「総合戦略」などの公開資料

③地域の産業・経済について知る

→ 地域経済分析システム (RESAS)

(2) 課題とその原因を考える

① 集めた情報から課題を列挙する

※ データを根拠にして、地域の現状・課題をとらえる

② 列挙した課題の原因を考える

※ 課題がおきている原因をできるだけ多く考えてみる

☆ 「課題」はデータから考える

「原因」はデータだけでなく得た情報などから広く考える

(3) 課題を設定し、要因を特定する

①地域に特徴的な課題の組み合わせを考える

②課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

(4) 課題解決のためのアイデアを考える

要因の解決につながる
アイデアを考える



≡ メインメニュー



ダッシュボード



データ分析支援



サマリー



ヘルプ



問合せ



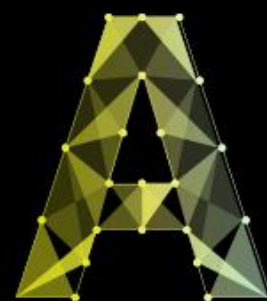
Regional



Economy



Society



Analyzing



System

地域経済分析システム

📊 サマリー

<https://resas.go.jp/#/29/29205>

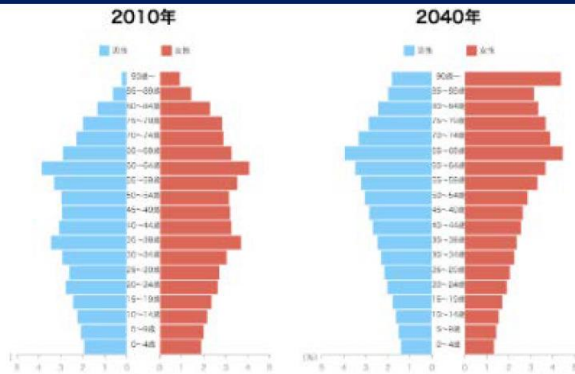
RESAS (リーサス) とは？

(地域経済分析システム : Regional Economy Society Analyzing System)

地域経済に関する様々なビッグデータ (産業の強み、人の流れ、人口動態など) を、
地図やグラフで分かりやすく「見える化 (可視化)」したシステム。

- ✓ インターネットで誰でも利用可能！
- ✓ 誰もが直感的に使える、分かりやすい画面操作！
- ✓ データに基づいて、地域の実情を把握・分析できる！

①人口マップ



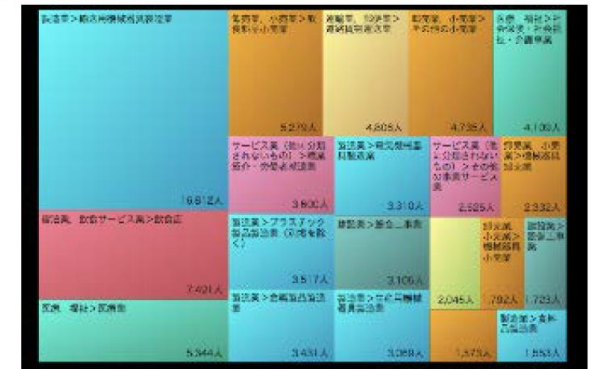
人口推計・推移、人口ピラミッド、
転入転出など

②地域経済循環マップ



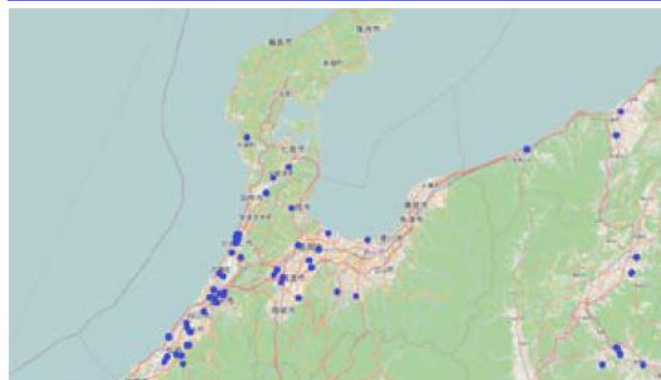
自治体の生産・分配・支出における
お金の流れなど

③産業構造マップ



産業の構成、雇用・売上で地域
を支える産業など

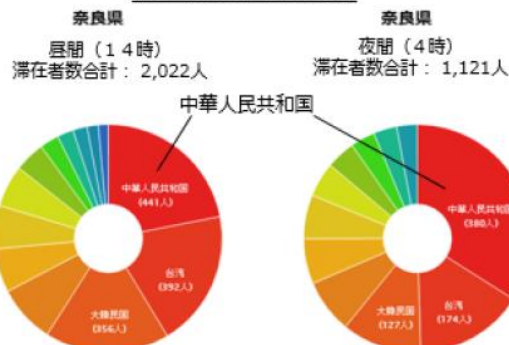
④企業活動マップ



地域の創業比率、特許分布、補助金採択企業など

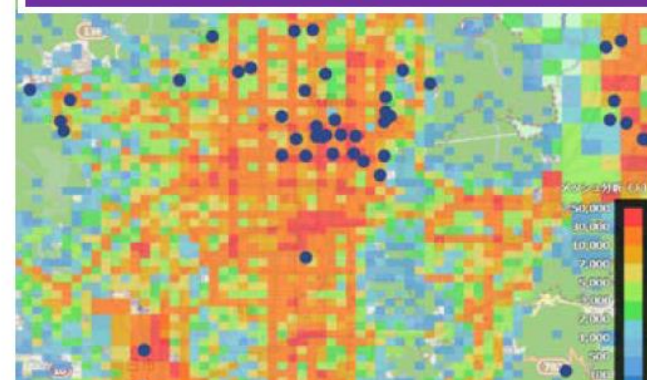
⑤観光マップ

外国人滞在分析



国籍別の外国人の滞在状況や、宿泊者の動向など

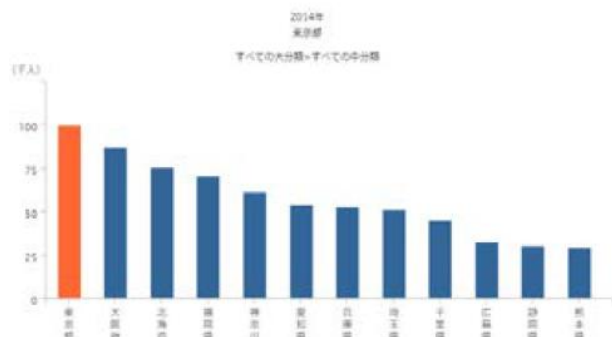
⑥まちづくりマップ



人が多く集まっている場所や事業所立地の動向など

⑦雇用／医療・福祉マップ

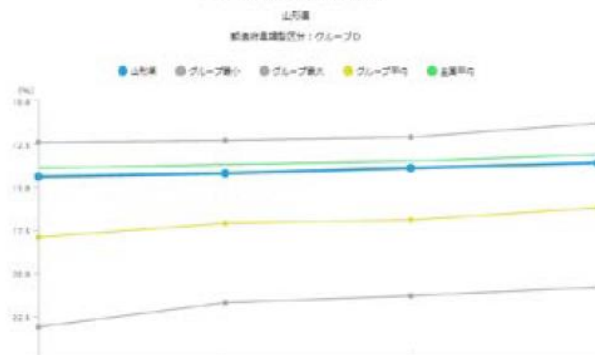
病院の推計入院患者数（実数）



地域の雇用や、医療・介護の需給など

⑧地方財政マップ

実質公債費比率の推移



各自治体の財政状況など

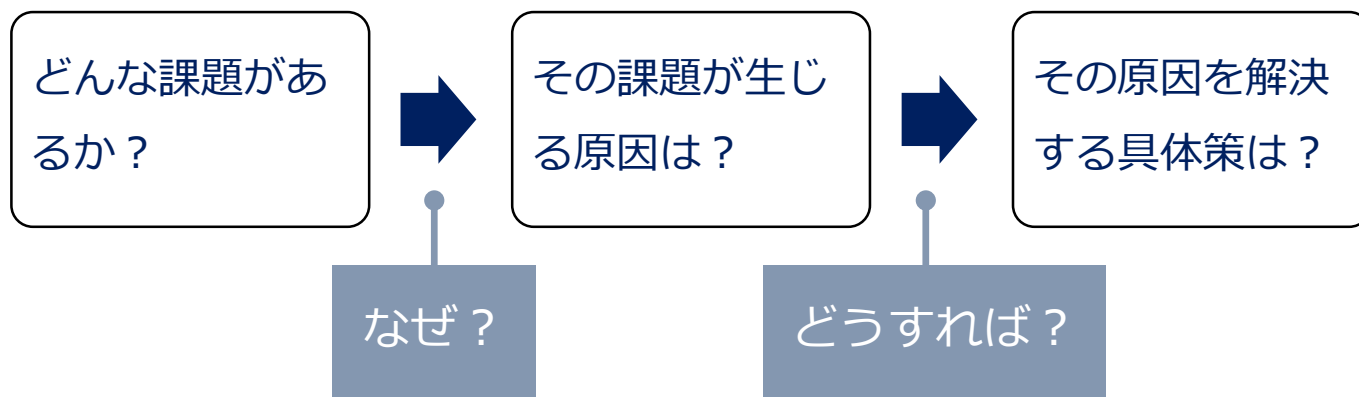
全81メニュー

※2017年2月末にメニューを追加しました

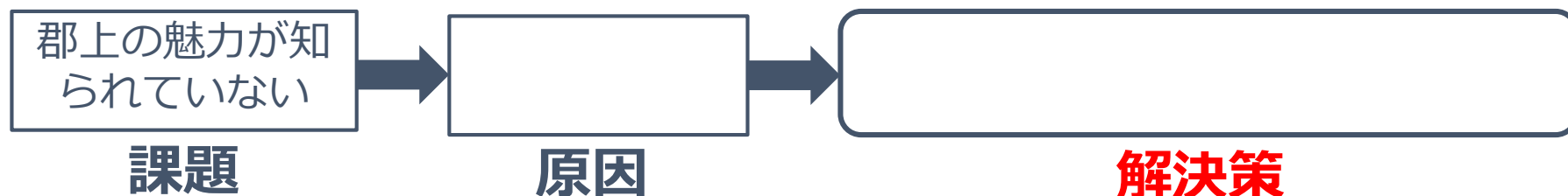


まんがのブックレットも公開中です！

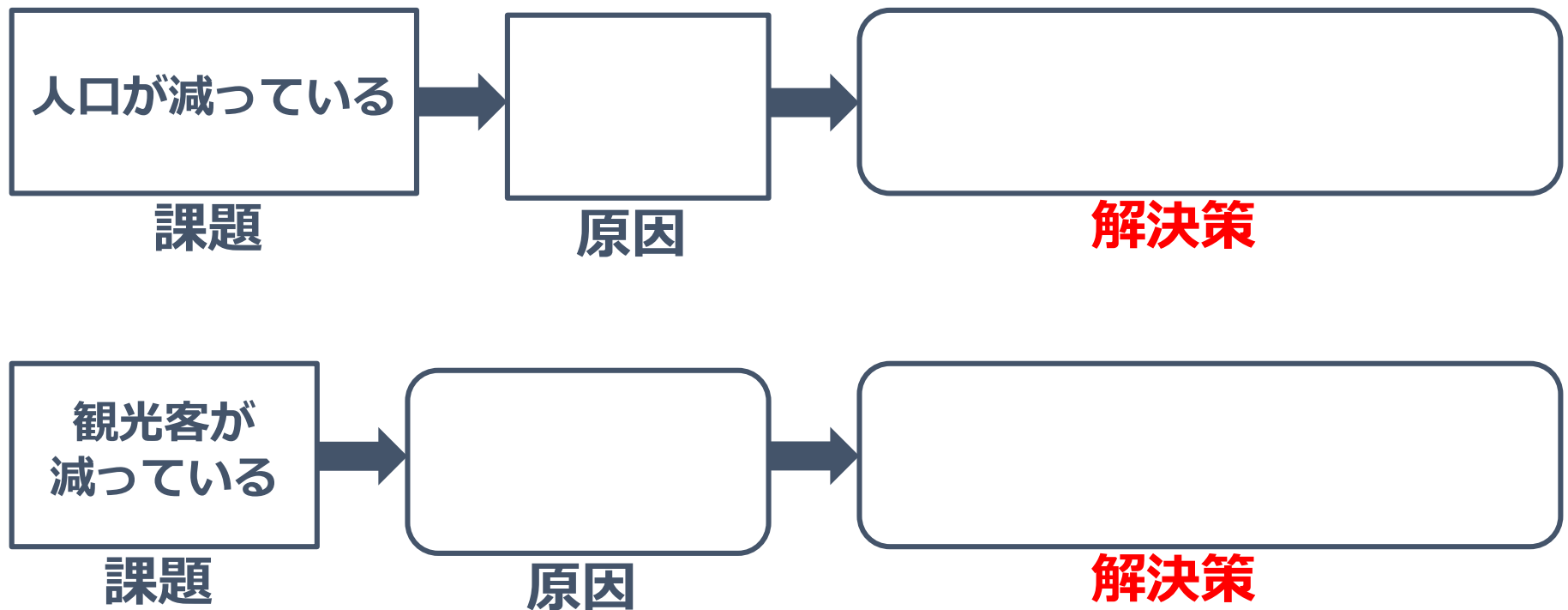
課題解決のフレームワーク



例



考えてみよう



課題解決のためのアイデアを考える

要因がとりのぞかれた状況をイメージする

(要因を真逆に言い換えるだけでもよい)

要因がとりのぞかれた状況

これまで集めた情報から地域の魅力や強みをできるだけ列挙する

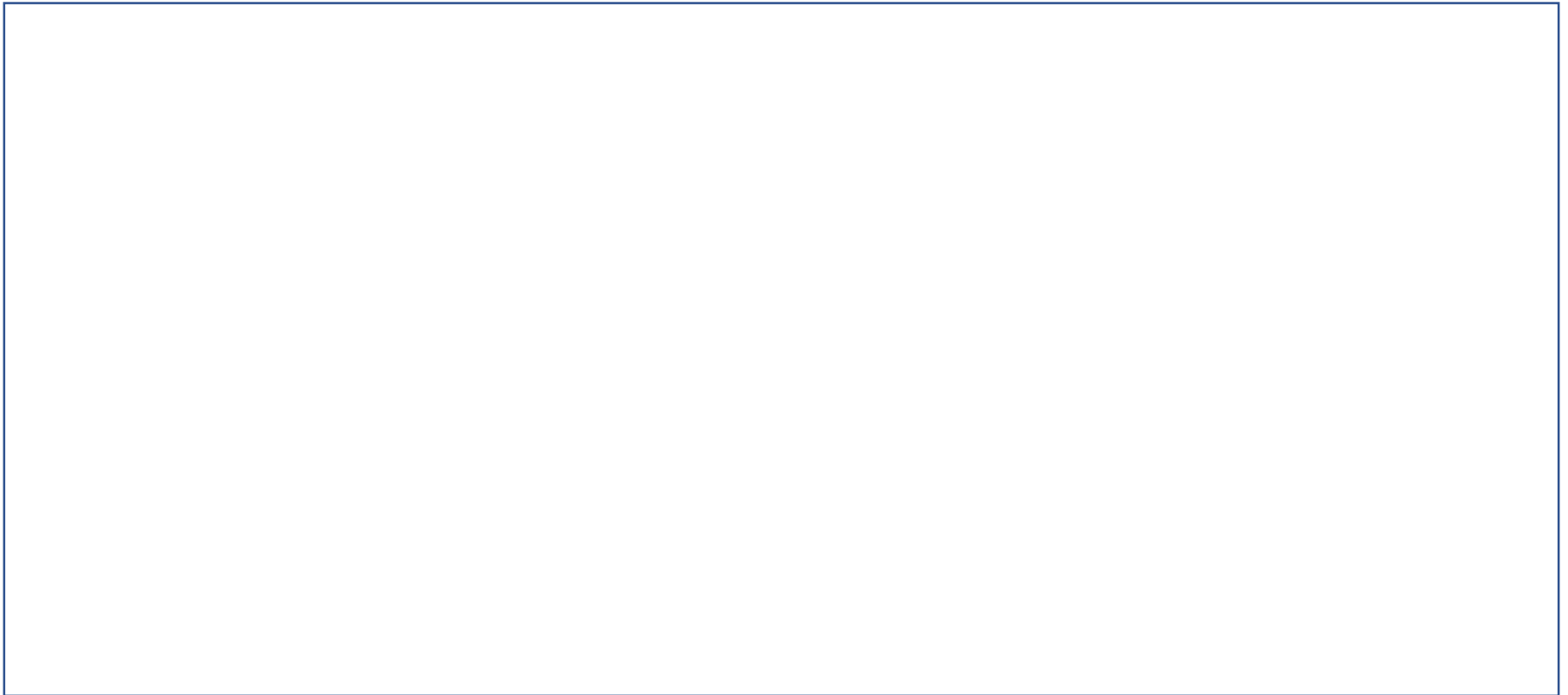
地域の魅力や強み

郡上市のプロモーション動画のコンセプト(例)

- ① 人口流出の課題の解決
- ② 交流人口の拡大
- ③ シビックプライド (civic pride) の醸成
- ④ 郡上市のブランディング戦略
- ⑤ アイデア実現後の結果 (効果)

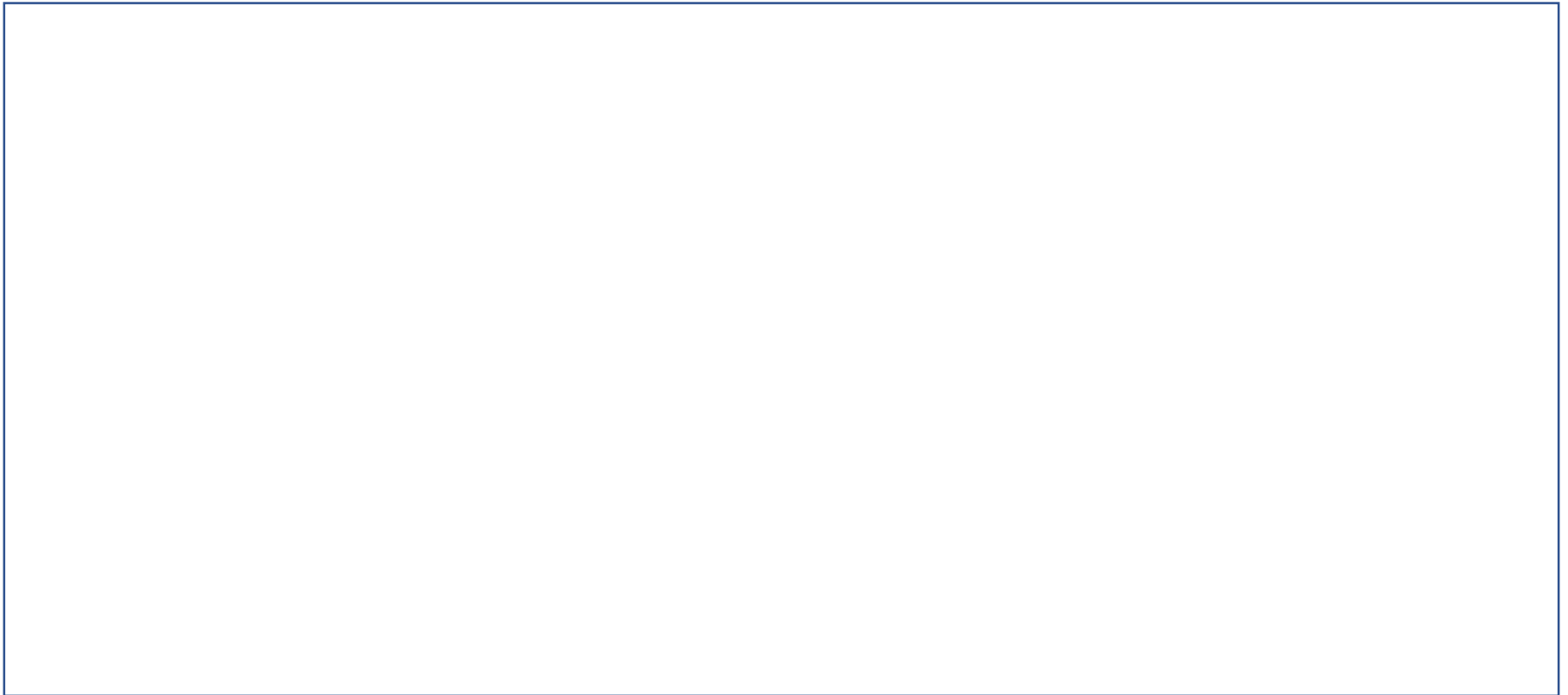
郡上市のプロモーション動画のコンセプト

テーマ



郡上市のプロモーション動画のコンセプト

概 要



郡上市のプロモーション動画の構成

絵コンテ

①



②



③



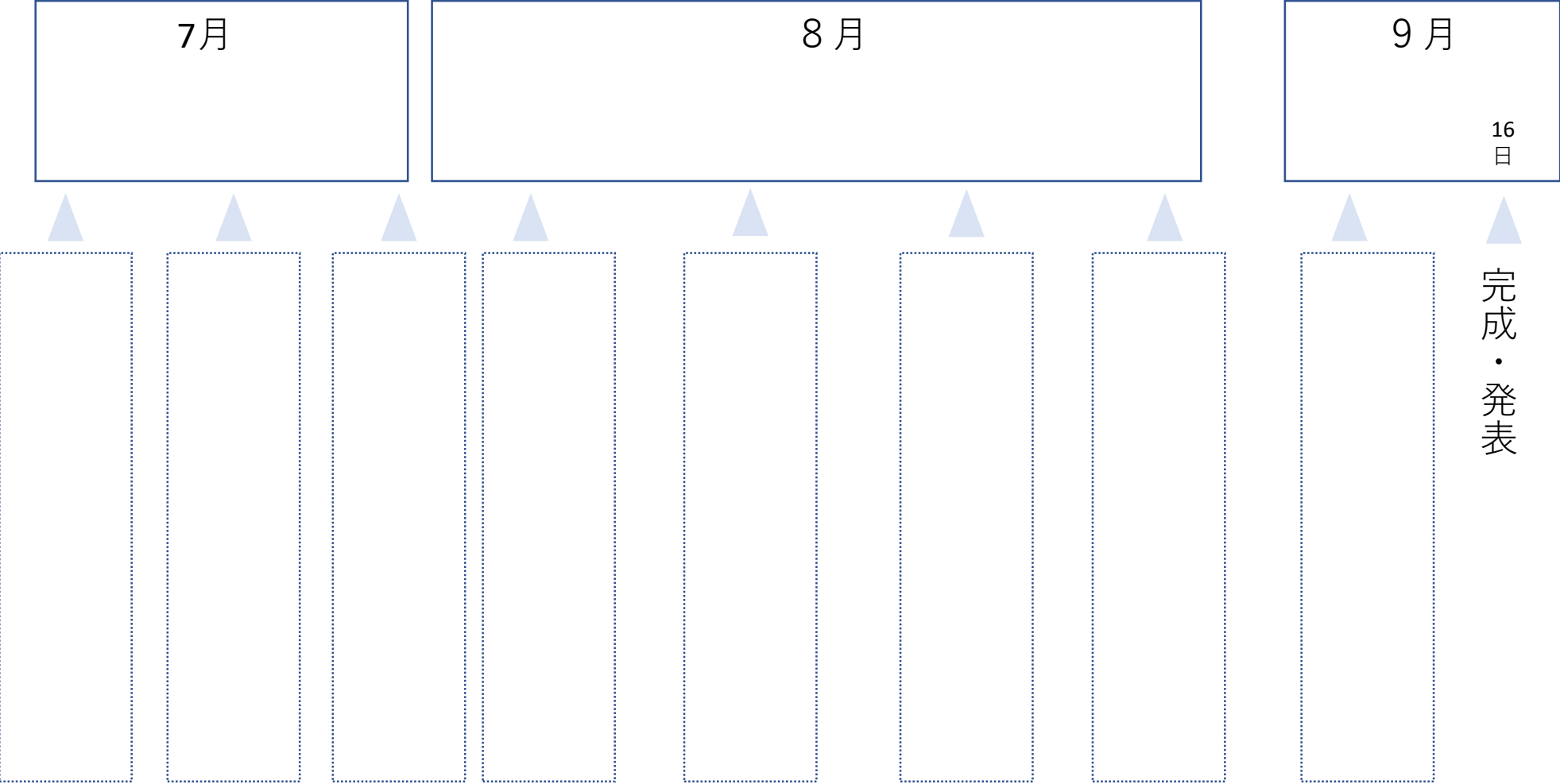
説明



キャプション



郡上市のプロモーション動画の制作計画



郡上市のプロモーション動画の評価

		評価の着目点		評価 (悪い 1 - 5 良い)				
プロモーション動画	企画提案	理解度	目的及びターゲットを理解しているか	1	2	3	4	5
		注目度	プロモーション動画にインパクト、独自性があるか	1	2	3	4	5
		テーマ性	魅力的な写真や文字、イラスト、動画を用いてコンセプトを表現しているか	1	2	3	4	5
		連動性	地域への関心を促す様な内容となっているか	1	2	3	4	5

学校設定科目「デジタルアーカイブ」

岐阜県立郡上北高等学校

令和5年度より学校設定科目「デジタルアーカイブ」を全国初で設置

デジタルアーカイブの普通教科「情報」への展開

情報活用能力

情報活用の実践力

課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力

情報の科学的な理解

情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解

情報社会に参画する態度

社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

デジタルアーカイブの普通教科「情報」への展開

「普通教科情報」が理科系に偏っており、文科系の生徒にとって難しい



情報技術がどのように実生活や社会に応用されるかを具体例を通じて示すことで、文科系の生徒にも興味を持たせることができる。

例えば、デジタルアーカイブの活用やソーシャルメディアの影響など、身近なテーマを取り上げることが効果的



普通教科情報に「デジタルアーカイブ」を導入することは、非常に有益な取り組みとなる可能性がある。

デジタルアーカイブの普通教科「情報」への展開

普通教科情報に「デジタルアーカイブ」を導入することは、非常に有益な取り組みとなる可能性がある。

1. 実生活との関連性
2. 文理融合の教育
3. スキルの多様性
4. プロジェクトベースの学習
5. 社会貢献の意識

デジタルアーカイブの普通教科「情報」への展開

授業で作成したデジタルアーカイブを一般公開し、地域社会や学校コミュニティに役立てることで、情報の共有と普及の重要性を学ぶ。



「デジタルアーカイブ」を普通教科情報に導入することは、文理融合の教育を推進し、生徒に多様なスキルを身につけさせる有効な方法である。実生活との関連性が高く、プロジェクトベースの学習にも適しているため、生徒の興味を引きやすく、学習意欲の向上にもつながる。